



国際会長 (IP) K.C.Samuel (India)

“Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”

「フェロシップとインパクトで次の100年へ」

会長 古賀 健一郎
副会長 古田 和彦
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古田 和彦

アジア太平洋地域会長 (AP) Chen Ming Chen (Taiwan)

“Elegantly Change with New Era”

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 青木 英幸

東日本区理事 (RD) 佐藤 重良 (甲府21)

“Let's act now for the future”

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

湘南・沖縄部部長 (DG) 小松 仲史 (厚木)

「楽しく・元気よく・前向きに」 副題: 入りたくなるワイズにしよう

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「他者と共に生きる ~ 平和を求めて」

“Live together in harmony ~ for Peace”

<今月の聖句>

押川 沢江

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に
適う人にあれ」

(ルカによる福音書2章14節)

中央Yウェルカムフェスタ報告

古賀 健一郎

11月23日(水・祝) ウェルカムフェスタ (チャリティーバ
ザー) が開かれた。

チャリティーイベントとして関内の賑わいを増す目的もあ
って、当初は関内えきちか広場で実施予定だったが、あいにく
の降雨により、横浜中央YMCAの1Fと3Fに場所を変更した。

午前9時半に集合。9時45分にウェルカムフェスタ実行委
員長の大鹿康廣氏 (横浜中央YMCA運営委員) は開会にあた
って、「コロナ禍の中で多くの方々のご参加で、フェスタを
盛り上げよう」とご尽力いただき感謝いたします。過去の経験
からも、内部で働く私たちにとって、外から来られるお客様
との出会いやお話などの触れ合いは楽しい思い出となります。

外は雨模様ですが、皆で明るく笑顔でウエルカムとお迎えし
ましょう。Let's enjoy together!と挨拶され、10時にチャ
リティーバザーが開始した。

1Fロビーでは、横浜ワイズメンズクラブは『抽選券付きジ
ュース販売』と『パヤオクラフト販売』を担当し、その他、ウ
クライナ手作り品販売 (ウクライナ避難民の方々) ・
横浜中華街チャイハネ 衣料品販売 (ウエルネススポーツクラ
ブスタッフ) ・キッズマーケット (のんびりんこスタッフ) ・
古本市 (本部スタッフ) ・台湾菓子 (専門学校スタッフ) 販売
等、皆で一致団結した。

3Fロビーでは、ヨーヨー釣り・バルーンアート (留学生を
含む専門学校学生) ・英語クイズチャレンジ・さかな釣り (語
学スタッフ・非常勤講師) ・スーパーボールすくい (ウエルネ
ススポーツクラブスタッフ) ・英語で絵本の読み聞かせ (グ
ローバルキンダーガーデン教師) ……等。集まった子どもた
ちと国際色豊かなスタッフとの楽しい触れ合いの場となり、
子どもたちの素敵な笑顔が大変印象に残った。

押川メネット 今月の聖句について

2000年前、ローマ帝国の圧政に苦しめられていたユダヤの
民の中にあっても最も卑しめられていた羊飼いや、ある
晩、神さまは天使の大軍を通じて「御心に適う人に平和があ
るように」と語りかけられました。救い主の誕生を最初に伝え
られた人々、つまり御心に適うと思われる人々、それは誰で
しょうか。イエス様の両親をはじめ、羊飼いや、東の国の占
星術の学者達、彼らの共通点は何でしょうか。そのことを問
いつつ、クリスマスを迎えるに当たり、神さまの御心に適う
者として平和への思いを新たにいたしましょう。

<2022年11月例会実績>

| 在籍者 | 出席者 | 出席率 | B F |
|-----|--|--|---|
| 12名 | メン 8名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 3名 ゲスト 2名 合計 14名 | 83 % (メーキャ ップ2名を 含む) 前月修正出 席率 % | 今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円 |

<12月の行事予定>

EF/JEF

| 日 | 曜 | 時間 | 行事内容 | 場所 |
|----|---|-------|---------------------|------------------|
| 3 | 土 | 13:00 | 専門学校クリスマス | Zoom |
| 6 | 火 | | 第96回Y-Ys協議会 | 中央Y |
| 17 | 土 | 14:00 | 横浜Yクリスマス礼拝 兼第一例会 | 海岸教会 You Tube |
| 22 | 木 | 17:00 | 第二例会 | Zoom |



15時 片付け・閉会。

今回の募金は93,675円となった。全ての収益はYMCA 国際・地域協力募金として海外・地域支援、東日本大震災・熊本地震など災害復興支援、タイの人身売買保護運動や、ミャンマーでの医療活動、カンボジアのストリートチルドレン支援など、困難な状況にあり支援が必要な国や地域の活動のために用いられる。

ウェルカムフェスタの取り組みを国際・地域社会に広げ、より多くの子どもの輝かしい笑顔を見る機会を増やしていきたいものです。

横浜クラブ参加者は青木、秋元、大高、古賀メン・メネ、佐竹、古田の7名。



<11月第一例会報告>

大高 治

日時 ; 2022年11月10(木) 18:30~20:15

出席者 ; 青木、秋元、伊藤、メネ、大高、古賀、斎藤、古田、松島 ビジター; 山下真一(十勝)、伊藤節子(厚木)、千葉裕子(鎌倉) ゲスト; 池田直子(横浜YMCA)、瀬谷智明(元横浜YMCA職員)

斎藤ワイズの司会で定刻に開始、開会点鐘及び挨拶に続いてワイズソングとワイズの信条の、聖句朗読とお祈り。

今例会の卓話は、古田ワイズによる、『横浜海岸教会150年史』からプロテスタント・キリスト教の来日と教会の誕生—について。

海岸教会の150周年記念に当たり『150年史』をまとめようというプランがあり、取り組みましたが、今回は最初に教会が出来たところまでの詳細なレジメが準備されておりました。その主要な事項と補足説明を記述します。

I プロテスタント・キリスト教の日本布教

1. 日本開国(日米修好通商条約と開国、居留地)

- ・日本の情報を求めて宣教師が来日。
- ・タウンゼント・ハリス(初代の駐日アメリカ総領事、在下田)は熱心な聖公会信徒で、修好通商条約の締結に当たり、自分たちの信仰を守るとともに、日本人の堂営や神体仏像、礼拝を妨げることがあってはならないという条文を提案、日本はあっさりとした。
- ・アメリカに続き、オランダ、ロシア、イギリス、フランスなどの国々も修好通商条約を締結。日本人のキリスト教信仰が認められてない段階で宣教師の来日を認めた。
- ・1859年神奈川、長崎、函館の3港を開港、居留地を設けて外国人を受入れ、宣教師も来日。

2. 宣教師の来日とその働き(英語、医療)

- ・医療宣教伝道師J.C.ヘボンが来日し、医師として活動、一般人にも施療。
- ・S.R.ブラウン(米国オランダ改革派教会)は矢野元隆鍼灸医を日本語教師とし、矢野は最初クリスチャンとなる。
- ・禁教下での宣教師の活動は、在日外国人の礼拝(これは表向きで、宣教活動が主たる役割)。その外、日本語の習得、英語の教授、学校、医療事業、聖書翻訳。

II プロテスタント教会の誕生

1. バラを中心とする宣教師の活動

- ・1861年11月バラ(米国オランダ改革派教会)の来日。
- ・1863年2月横浜ユニオン教会; 米国領事館内で、13名で開始。外国人による外国人の教会の始まり。
- ・お寺住まいの神奈川宿から横浜の居留地へ。1863年6月、現在の横浜海岸教会の土地、居留地167番にバラ一家が住む。
- ・矢野はバラの日本語教師となり、漢文の聖書のひらがな化に加わり、内容に惹かれる。また当時の他の日本語教師の多くも第一級の文化人で、翻訳作業を手伝う中で聖書が示す信仰に惹かれて行った。ヘボンの教師、奥野昌綱が代表的。

2. 日本人のための礼拝

- ・1866年8月の第1日曜日は特別の日になる。横浜ユニオン

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

教会の礼拝と並行して、領事館内のバラの自宅で「日本語による日本人のための礼拝」が行われた。まだ礼拝が許されてない時で、出席者は初め2名。

- ・1971年春、英語と聖書を教える「バラ塾」が開かれ、全国から若い武士、ほとんどが幕臣か薩長以外の出身者が集まった。バラは日本語も下手、説教も下手だったが、講義や祈りの情熱が若者を惹きつけた。

3. プロテスタント教会（日本基督公会）の誕生

- ・初週祈禱会の始まり：1872年2月10日（旧暦明治5年1月2日）。外国人は1861年来の恒例。
- ・正月2日（1872年2月10日）バラの承認の下、日本人による最初の初週祈禱会が開かれた。
- ・1872年3月10日（明治5年2月2日）；日本で初めての日本基督公会の誕生。

小川義綏が長老に当選。続いて9名にバラが洗礼を受けた。蝶者も加わり既に洗礼を受けていた者2名を加え計11名で日本基督公会が誕生した。一同死も覚悟。切支丹禁制の高札の撤去（1863年2月24日）前の出来事であった。



- ・蝶者3名は事細かく時の政府に報告していたことが150年史作成の役に立った。

III 日本における最初のYMCA活動と横浜YMCA100年史

- ・1974年居留外国人によって横浜にYMCA設立。会長A.J. ウイルキン（英国人で火災保険会社の横浜支店支配人）が会長。
- ・横浜から東京築地の外国人YMCA設立。そこから1880年東京の日本人YMCA設立に。

ビジネス

行事予定の確認、②協議・報告事項

- ・11月23日；ウエルカムフェスタ 9時半から、地下鉄開内駅出口
- ・12月8日；YMCA スタッフを招いた親睦会は第二例会で確認する。
- ・12月17日；YMCAのクリスマス礼拝兼第一例会、横浜海岸教会にて。
- ・1月12日；第一例会。卓話者；横浜YMCA広報担当の池田直子さん。

「第26回湘南・沖縄部 部大会報告」

古賀 健一郎

（当報告は、紙面スペースの都合上、ブリテン11月号への掲載がかなわなかった後半部分です）

【第2部】湘南・沖縄部 部大会.となった。

小松伸史部長の開会点鐘につづいて、ワイズの信条を全員で唱和し、阿部正伴部担当主事より開会のお祈りをいただいた。

来賓祝辞として、東日本区理事の佐藤重良ワイズは、「東日本区の会員数の減少は深刻である。2022年7月現在で770人であり、この数字は昨年から30名減、一昨年からは60減の減少となり、近い将来500名を切ることになるのでは？」と案じる。西日本区も同様な傾向。

湘南・沖縄部は人口の多い地域にあり、大規模な組織の横浜



YMCA との密接な連携をもたれてることから、”活力ある“湘南・沖縄部への会員増強へ取り組みへの期待は大きい。何卒よろしくお願ひしたい」と祝辞と共に激励があった。



続いて、横浜YMCA 佐竹博総主事は「国際協力募金800万円を目指し、支援を待っているアジアの人たちの為に活動中である。組織は大きくても、たった一人の職場から多人数の職場までのそれぞれのYMCAが、一つ一つの働きを地域への働きにつなげている。横浜YMCA 将来計画VISION2034を策定し、横浜YMCA 創立150周年を迎える2034年までの歩みを進めている。（FOR HEALTHY LIVING、FOR YOUTH DEVELOPMENT、FOR SOCIAL RESPONSIBILITYの取り組み）」と挨拶された。

報告、連絡に入り、まず、部の事業主査から。会員増強事業主査の佐藤節子ワイズ「『ワイズメンズクラブをご存じですか？』の大きなポスターを示しながら、“ワイズメンズクラブは、YMCAと同じ思いで活動する”を心に留め、会員増強に励んでいきたい」…。

続いて、ユース事業主査の鈴木茂ワイズは「『青少年の為にYMCAに尽くそう“をどのように進めていくかを考え行動していく』との小松部長の今年度の基本方針をユース事業にしっかりとつなげていきたい」と報告された。さらにエクステンション委員会辻委員長からは、最近のエクステンション委員会の詳細な活動報告と共に、新規クラブ創設に向け具体的な計画で努力がなされている旨の報告があった。

最後に、黒川次期部長の挨拶で閉会した。横浜クラブの参加者 会場：佐竹、古賀

「第2回評議会報告」

古田 和彦

1. 開催日時・場所

2022年11月26日(土) 15:00~16:30 於 横浜中央YMCA と Zoom

- 28名の出席(内、委任状は11名)
- 全体司会は部書記の板崎淑子ワイズ(鎌倉)、議事の議長は小松部長
- 議案とその採決結果
- 1) 第1号議案「湘南・沖縄部と横浜 YMCA 合同新年会について」

小松部長から、コロナの第8波も見られており、残念だが新年会は中止としたいとの提案があり、異議なく承認した。

- 2) 議案ではないが、現今の会員状況に鑑み「会員獲得」に関する提言が厚木クラブから出された。エクステンション委員会で受け止め検討することとした。

5. 報告・連絡

小松部長から①10/22 部大会が計画通り行われたこと、②11/5 開催の東日本区役員会報告(2023-24年度理事は山田公平ワイズ(宇都宮)、大会参加年齢による会費の扱いについて、2023年2/4-5開催の東西日本区交流会など)、③部長活動報告(公式訪問)があった。次いで部書記から評議会の出欠連絡を期限までに行ってほしいとの要望が、部会計から諸献金のクラブ每一覧を作成配布してはどうかとの意見があるがどうかと問い合わせがあり、献金額は公表されているので一覧表にすることは必要ないとした。続いて各事業主査、各クラブ、YMCAから報告があった。主な点は、古賀国際・交流事業主査から東西日本区交流会に対する事前アンケート提出の依頼が、各クラブからはYMCAバザーへの協力、12月クリスマスへの対応などの報告が、YMCAからはチャリティーラン報告、12/6 Y-Ys 協議会参加依頼があった。

6. 監事講評

峯尾監事から、概要次の講評があった。
ワイズは任意の団体であるので事務的作業は極力減らしたい。会議記録はもっと簡潔でよいのではないか。沖縄にクラブが存在しない現状から沖縄YMCAへの支援金の是非を検討してはどうかとの意見があった。

7. 小松部長の閉会点鐘で終了した。

横浜クラブ出席者: 古賀、古田(Zoom)、大高(委任状)

『近況: 自律神経失調症』

齋藤 宙也

8月3日、暑さを引き金に自律神経失調症となった。最初は、熱中症の後遺症で脳がおかしくなったかと思いきや、CTや血液検査は異常なし。MRIを撮るまでもないということであった。

とはいえ、その後不眠が続き、生死の間をさまようような感じになった。いろいろと調べているうちに、自律神経失調症なのではないかと思ったところ、果たして、ドクターも、自律神経の障害だと答えてくれた。

同月20日から、自律神経調整薬を飲みながら治療へ。しばらくは、暑さも厳しく、昼間に外出すると熱中症を連想してしまうため、夜間しか出歩けなかった。9月も暑い日々が

続き、なかなか動けなかった。10月になり、ようやく暑さが収まってきて、徐々に眠れるようになった(ただ、いまだに、一時間半くらいで目覚めてまた寝て起きての繰り返しになっている。)

現在もなお、一般人の何倍も疲れやすく、平衡感覚が鈍く、足元の不安定感がある。夏に全然外出できなくなって、足の筋力が衰えていたのかもしれない。

自律神経失調症は、ありていに言えば、交感神経過敏症である。心身の過労が引き起こす。特効薬はなく、脳と体を休めて徐々に過敏性を取っていくしかないらしい。脳を休めるという観点では、やることを減らすことが第一である。10月上旬頃までは、新規の相談を断っていた。ただ、売上が上がらないと生きていけないので、10月半ば頃から少しずつ相談を入れるようになった。それでも、一日の予定数の上限を設定している。

しかし、それだけではまだ減らし足りない。結局、お金にならない会合、ボランティア活動の類いになるべく欠席することで、総体で3割くらいはやることを減らしたか。もちろん、YMCAの諸活動も、減らさざるを得なかった。同盟の監事だけは、出ないと公益法人の運営に支障が出るので、発症直後の回を除き出ているが、それ以外はほぼ休み。12月くらいから、少しずつ再開させたいとは思っているが、詰め込まないように気を付けたい。

せつかく会長になったロータリークラブも、どうしてももの以外は最低限の参加にしたり、ウェブ参加にしている。当クラブの例会と、ロータリークラブの会長幹事会という毎月の会合が重なりがちであり、例会出席もどのみち今年度は難しい。

実質的な復帰は、来年後半(次年度)以降になりそうであり、それまでは、私の回復を祈っていただけると有り難い。

計報

元横浜クラブ会員、神村浩正さんが10月16日、お亡くなりになりました。謹んでお知らせいたしますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

神村さんは1997年入会、病気療養のため2018年退会するまで21年間在籍され、2000年7月~2002年6月の2期、会長を務められ、タイ・バンコク・クラブとIBCを締結するなど目覚ましい活躍をさ

第二例会報告

古田 和彦

日時: 11月29日(火) 16:10~16:50

場所: Zoomによる開催

出席者: 青木、伊藤、大高、古賀、古田
協議・確認・検討事項

1. 行事予定

・資料により1月までの予定が示され、了承した。(12月第2例会は12/22に訂正)

2. 協議・報告事項

1) 12月、1月の横浜クラブの第1例会予定について

・12月8日に中央YMCA職員や入会を誘っているゲストを招待して中華街での懇親会を予定していたが、コロナ感染第8波に鑑み、この会は中止する。

その代わりとして、12月17日(土)14:00からの横浜YMCAクリスマス礼拝を、当クラブ第1例会として兼ねることとした。後日、チラシ等で詳細を案内する。

・1月12日(木)18:30~20:00 於:横浜中央YMCA+Zoom

<卓話講師> 横浜YMCA広報担当職員 池田直子氏
内容は、広報担当として、横浜YMCAのあらゆるプログラムに立ち会っている池田直子さんに、YMCAが外部に発信している「YMCAの活動の価値」について卓話をお願いする。本人からは快諾を得ている。

2) 12/3(土)13:00-14:00、横浜YMCAカレッジグループクリスマス礼拝(オンライン)が行われるので、時間のある方は参加してほしい。

3) 第3回東西日本区交流会について

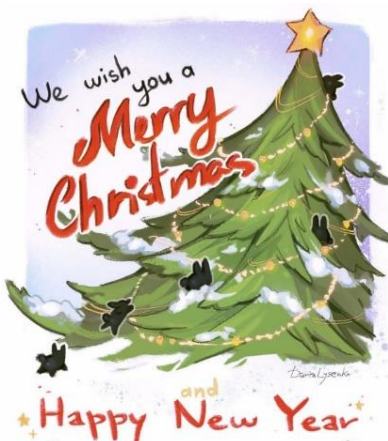
2月4日(土)~5日(日)、ANAクラウンプラザホテル神戸で、掲記交流会が行われる。メインプログラムとして「DBCプロポーズ大作戦」を計画し、DBCの促進を進めたい意向である。今から予定してほしい。詳細は後日。

4) 広報リーフレットの原案を古田ワイズが検討することになっている。新入会希望者も複数いる事から、2・3月ごろまでにはできるよう進めてほしい。

5) 1月ブリテン計画を一部見直して承認。見直し点は、12月例会報告兼横浜YMCAクリスマス礼拝報告は古賀ワイズ、新たに、12/6 Y-Ys 協議会報告は古田ワイズとする。

6) その他

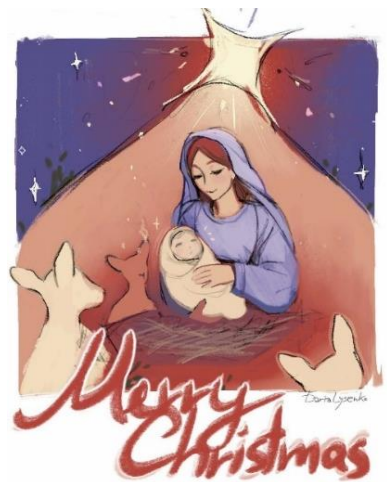
・訓盲院、水上学園へのクリスマスプレゼント(アンジュのお菓子)を手配している。具体的内容は次月報告する。
・元当クラブ会員神村浩正氏が10月16日逝去された。享年90歳。1月ブリテンに囲み記事で追悼文を掲載する。



担当主事 青木 英幸

横浜YMCAでは8月と11月を平和月間とし、平和について考える時間を大切にしています。横浜中央YMCA館内の各フロアに「平和の木」を設置し、「平和のハト」にメッセージを添え掲示しています。横浜YMCA学院専門学校の学

生たちはこの取り組みの際、エコのついても考える機会を設けています。学生委員が中心となり昨年は各自で裏紙を用意し「平和のハト」を作成しました。今年はクラス毎に1つの「平和のハト」を作成し、寄せ書きをするかたちを取っています。学生たちが平和について考える機会を持ち、思いを一つにしてくれていることに、本当に感謝です。



11月23日に実施された横浜中央YMCAウェルカムフェスタに続き、国際・地域協力募金活動の一環として、2種類のイラストデザインのクリスマスカードを販売しております。このカードのイラストは、10月にウクライナから日本に来て、本校日本語学科の聴講生として日本語を学んでいる留学生が、世界中が優しい気持ちになれるクリスマスを迎えられるようにと描いてくれたデザインになります。

アドベントを迎え、横浜中央YMCA1階ロビーに「イエスの誕生ディスプレイ」が飾られます。12月に入り3日(土)に横浜YMCA専門学校クリスマス礼拝、17日(土)に横浜YMCAクリスマス礼拝、22日(木)に横浜YMCA学院専門学校日本語学科クリスマス礼拝が実施されます。皆様と共に素敵なクリスマスが迎えられますようお祈りいたします。

12月例会プログラム

日時: 12月17日(木) 14:00~15:30

場所: 横浜海岸教会、YouTube 配信

「横浜YMCAクリスマス礼拝」
(横浜クラブ例会を兼ねる)

第一部 クリスマス礼拝

上山 修平牧師

第二部 クリスマス演奏

横浜YMCA Port Friendsによる

ハンドベル演奏

Happy Birthday 古田 伽知子

例会報告: 古賀ワイズ

1月の行事

| 日 | 曜 | 時間 | 行事内容 | 場所 |
|----|---|-------|-----------|--------|
| 12 | 木 | 18:30 | 横浜クラブ第一例会 | ハイブリッド |
| 26 | 木 | 17:00 | 横浜クラブ第二例会 | Zoom |

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 青木英幸にご連絡下さい。

メール aoki_hideyuki@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080